

Arita Será TIMES

有田焼ショッピング・リゾート「アリタセラ」の季刊フリーニューズペーパー

TAKE ONE *for* FREE

Extra issue 2022



Edited and Designed by promoduction Published by 有田焼卸団地協同組合 www.arita.gr.jp

INDEX

- ・SDGs宣言
- ・有田焼卸団地協同組合の沿革と取り組み
- ・アritaセラのSDGsへの取り組み-1
- ・茶わん供養 から べんじゃらプロジェクトへ
- ・アritaセラのSDGsへの取り組み-2
- ・太陽光発電所の整備・運営
- ・アritaセラのSDGsへの取り組み-3
- ・食と連携した器文化の発信 arita huis

有田焼卸団地協同組合は「SDGs宣言」を行います

現在の組合員の先代たちが主導し、有田焼卸団地を開設してから今年で47年。この約半世紀に、社会状況やライフスタイルが大きく変化するとともに、有田焼をはじめとした器に対するご要望も多様化しています。年々売り上げが減少する陶磁器産業において、400年の歴史を誇る有田焼産業も過去の名声に甘んじることなく、日々新しいことへ挑戦しながら、その事業を次代に繋いでいかななくてはなりません。

有田焼産業の持続可能性を考え、その商社組合として、今何ができ、何をすべきなのか？という問いから議論を重ね、この度「SDGs宣言」を行うにいたしました。

このアリタセラタイムズ 特別号では、アリタセラのSDGsへの取り組みをご紹介します。ご一読いただき、有田焼卸団地協同組合の活動へのご支援・ご協力をお願いいたします。



有田焼卸団地協同組合は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

SDGsとは、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。国連に加盟する193か国が、2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた国際社会共通の目標のことで、17の大きな目標と、具体的な169のターゲット（達成基準）で構成されています。

これからの人類共通の価値観として、豊かさを追求しながらも地球環境を守り、人類存続のため、「経済・社会・環境」という3つの側面においてバランスがとれた、優しさ、気遣いある行動を実践していこうという取り組みです。



歩行者と車が共用しながらも広場的な空間を目指して舗装一新し、植栽をリニューアルしたアリタセラの中央大通り



「茶わん神輿」へと向かう参道をイメージした中央大通りの石畳風舗装



役目を終えた器を細かく砕いた「べんじゃら」を植栽の足元に敷き詰め再利用



店舗の外壁や柱を塗り直してリフレッシュしたアーケード

有田焼卸団地が誕生して47年が経ち、「アリタセラ／Arita Será」に改称して4年余り。コロナ禍の最中ですが、過去にも幾多の困難を乗り越え、社会の変化と共に、卸団地からショッピングモールへと場も改変してきました。有田焼産業において販売を担う商社組合として、400年におよぶ焼きものの産地の持続可能性を考え、取り組んでいます。

2021年春には、中央大通りの舗装工事を実施し、アリタセラのシンボルともなっている陶山神社の分霊が座す御神体「茶わん神輿」へと通じる石畳の参道を思わせる設えにリニューアルしました。

さらに通りの両脇を彩る木々や草花など植栽も一新。焼きもののへの感謝の気持ちを込めて、40年の長きにわたって毎年行ってきた「茶わん供養」にて皆さまからご奉納いただいた、欠けたり割れたりしてしまったご愛用の茶わん等を細かく砕き、チップ状の「べんじゃら（陶磁器片を意味する有田の方言）」に生まれ変わらせ、その植栽の足元のグラウンドカバー材として敷き詰め、再利用するアップサイクルなSDGsへの試みも進めています。

伝統ある有田焼産業の持続可能性を目指して

アリタセラでは、ご来場いただく皆さまに快適に過ごしていただけるよう、2019年より場内設備の改修工事やFree Wi-Fi導入（ネットワーク名：aritasera）、電気自動車の充電ステーション設置など、環境整備を積極的に行なってきました。

「ひと」と「まち」が繋がり、持続可能な陶磁器文化の発展に向けて

先人たちによる有田焼産業の歴史に目を向けてみると、400年もの長きに渡り、焼きものを作り続けてきたこと自体、持続可能性、まさにSDGsに取り組んできたとも言えるでしょう。

しかしながら、近年、「売上減少」「後継者・人材不足」「原材料の確保」「多様化する市場への対応」などの課題が顕著となり、そしてこのコロナ禍による打撃、さまざまな物価や経費の高騰により、5年、10年の先行きさえ不透明となっている状況です。次代を担う子どもたちには、有田焼産地をどう残していけるのか？焼きものを地場産業とする持続可能な町を作り、器文化を継承・発展させていくため、窯業関係者はもちろん、それを支えてくださる町民の皆さま、さらに使い手であるお客さまと連携しながら、SDGsに取り組んでまいります。

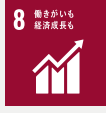


有田焼卸団地協同組合



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

有田焼卸団地協同組合は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



8働きがいも経済成長も



9産業と技術革新の基盤をつくろう



11住み続けられるまちづくりを



12つくる責任つかう責任



13気候変動に具体的な対策を



有田焼卸団地協同組合が目指す取り組み

- ◆400年におよぶ日本初の磁器を製造・販売してきた《**伝統**》ある有田焼産業の継承に努めます。
- ◆現代のライフスタイルに寄り添い、器文化の発信を通じ、新たな価値の創出を目指す《**進化**》したものづくりに挑戦します。
- ◆地球環境の持続可能性を考え、CO₂排出や産業廃棄物軽減に取り組む《**循環**》型産業へ貢献します。
- ◆有田町や観光協会、商工会議所や他組合と連携し、年間を通じたイベントの共催や町の活性化事業への協力、西有田の農業などの異業種と窯業が《**協働**》できるさまざまな取り組みを推進します。
- ◆有田町の観光拠点として年中無休にて旅行客をお迎えしながらも、「食」などを通じて地域住民も楽しめ、地域の誇りである有田焼の魅力を体感できる《**多様**》なおもてなしに取り組めます。

有田焼卸団地協同組合の沿革

1973	昭和48年 10月	有田焼卸団地協同組合 設立
1975	昭和50年 4月	有田焼卸団地 開設
1980	昭和55年 11月	第1回 茶わん供養・有田のちゃわん祭り 開催
1990	平成 2年 4月	南館完成（有田焼卸団地 開設15周年記念事業）
1991	平成 3年 10月	茶わん神輿を整備
2000	平成12年 5月	有田焼卸団地 開設25周年記念「有田陶磁の里プラザ」呼称登録
2005	平成17年 11月	プライベートブランド 匠の蔵 第一弾「至高の焼酎グラス」発表
2015	平成27年 4月	有田陶磁の里プラザ 環境整備（有田焼卸団地開設40周年記念事業）
	9月	太陽光発電所 稼働開始
2016	平成28年	有田焼創業400年
2017	平成29年 10月	魅力創出プロジェクト委員会 発足
2018	平成30年 4月	「有田陶磁の里プラザ」から「アリタセラ / AritaSer�」に改称
	4月	ホテル・レストラン「arita huis / アリタハウス」開業
2019	令和 元年 9月	商店街活性化・観光消費創出事業による環境整備
	10月	「茶わん供養」見直しによる茶わん神輿周辺環境整備
2020	令和 2年 3月	茶わん絵馬お焚き上げ神事を初執行
	12月	中央大通りの石畳風舗装の整備
2021	令和 3年 2月	中央大通りの植栽リニューアル
	3月	べんじゃら（陶磁器片）を植栽足元のグランドカバー材として活用開始
	11月	経済産業省・中小企業庁 選定「はばたく商店街30選」受賞
2022	令和 4年 11月	第40回 茶わん供養・有田のちゃわん祭り
	11月	有田焼卸団地協同組合としてSDGs宣言

開設当時の有田焼卸団地の風景

有田焼の窯元62社の協力のもと制作した茶わん神輿

有田焼卸団地協同組合のプライベートブランド「匠の蔵」

地域経済の発展に貢献している商店街（観光分野）として受賞

アリタセラのSDGsへの取り組み－1

焼きものへの感謝や、ものを大切にする心を伝える

茶わん供養

毎年 11月 19日 ～ 23日

アリタセラのシンボルとして南館に常設展示している「茶わん神輿」は、焼きものの神様として親しまれる「陶山神社」の分霊が座す御神体です。

アリタセラでは、焼きものへの一年の感謝の気持ちを込め、毎年11月に開催している「有田のちゃわん祭り」にて、陶山神社宮司による「茶わん供養神事」を執り行っています。令和4年度の開催で、40回を数える歴史ある神事です。

欠けてしまったり、割れてしまった茶わん、役目を終えたご愛用の茶わんをご持参いただき、茶わんの形をした「茶わん絵馬」に御霊を移し、感謝の気持ちを書き添え、「絵馬掛け処」にご奉納いただけます。

有田のちゃわん祭り期間中はもとより、御神体「茶わん神輿」の傍では、一年を通して皆さまからの「茶わん供養奉納」を承っております。



陶山神社の分霊が座す茶わん神輿にて執り行われる「茶わん供養神事」



絵馬掛け処に奉納された「茶わん絵馬」



陶山神社宮司による茶わん供養神事の様子

茶わん絵馬 お焚き上げ神事

毎年 2月末頃

「お焚き上げ」とは、御霊を移した絵馬など魂の宿ったものを浄火で焚き上げ、祓い清める儀式です。

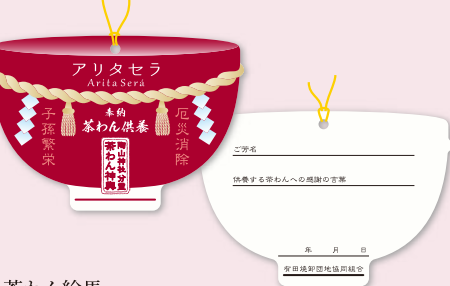
役目を終えた愛用の茶わんへの感謝の気持ちを書き記し、多くの皆さまからご奉納いただいた「茶わん絵馬」。

日々に豊かさを与えてくれた器との別れを惜しみ、供養することは、「厄災消除」の身代わり祈願となり、さらには代々に渡り食べることに困らない「子孫繁栄」にご利益があるとされます。

毎年2月、有田焼卸団地協同組合では、陶山神社宮司による「茶わん絵馬 お焚き上げ神事」を執り行い、過去1年間にご奉納いただいた「茶わん絵馬」を責任を持って丁寧に供養していただいています。



有田焼卸団地協同組合の組合員が参列して執り行われる「お焚き上げ神事」の様子



茶わん絵馬



茶わん絵馬のお焚き上げ

べんじゃら プロジェクト

毎年 4月頃

「茶わん供養」の一環として、令和3(2021)年春より、供養後の茶わん等の器をチップ状に粉碎加工し、植栽足元の敷材として再利用する「べんじゃらプロジェクト」を始めました。

有田焼の商社が集まるアリタセラとして、販売後の陶磁器の行く末を見据え、さらに愛着を持って長年使っていただいたお客様の器への想いに応え、そして焼きものへの感謝や大切にする心を醸成していこうという「茶わん供養」を発展させたSDGsへの取り組みです。

これまで供養した後の茶わんは廃棄処分しておりましたが、その有効活用を考え、細かく砕いてチップ状の「べんじゃら(陶磁器片を意味する有田の方言)」に加工し、アリタセラの中央大通りの植栽足元のグランドカバー材として敷き詰めることで、有田焼産地らしい景観材料に生まれ変わります。

さらに今後は建材としての利用も考え、産地の産業廃棄物のアップサイクルの取り組みとしても検討を行なっています。



アリタセラの植栽足元のグランドカバー材として敷き詰められた「べんじゃら」



ハンマクラッシャーで茶わんなどを粉碎し、べんじゃらに加工



べんじゃらを化粧石として再利用

アリタセラのSDGsへの取り組み－2

脱炭素社会に向けた
クリーンエネルギーへの転換



太陽光発電所の整備・運営
平成 27(2015)年 9月～

有田焼卸団地開設40周年の記念事業として、組合員有志16社が出資し、参加事業所の屋根にソーラーパネルを設置。総出力408 kW（総面積 約 3,130 m²：テニスコート 約12面分）の太陽光発電設備を平成27（2015）年9月より稼働しました。

直近5年間の発電量の年平均値は、49万2,700 kWhに達し、日本の一般家庭の年間電気使用量換算で、約114戸分の電力を生み出しています。

陶磁器の生産において、焼成という工程は欠かせません。有田焼はその焼成にガス窯を用いており、多くの CO₂を排出しています。アリタセラでは、脱炭素社会の達成に向け、産地内の化石エネルギー需要軽減に努めています。



事業所の屋根に設置されたソーラーパネル

アリタセラのSDGsへの取り組み－3

食と連携した器文化の発信
クリエイティブプラットフォームを目指して



arita huisの開業
平成 30(2018)年 4月～



「外部のクリエイターや観光などで有田に来訪される方々との交流の場を設けたい。」そんな想いをきっかけに、佐賀県のクリエイティブプラットフォーム交流・発信拠点整備事業として、2018年4月18日、アリタセラ内にホテル・レストラン「arita huis（アリタハウス）」を開業しました。

10組のお客さまを迎えるスタイリッシュなホテル、臨場感あふれるオープンキッチンと44席の落ち着いたダイニング、海外のクリエイターが有田に長期滞在して創作した作品を展示するギャラリーを併設したレストラン。有田でしか味わえない特別なひとときを、充実したおもてなし、食、空間美でお迎えしています。

有田焼の奥深さ、歴史、洗練された世界観を表現する他には類を見ない心地よい空間として、日本ならではの美しい器を体感し、愛で、味わえる、唯一無二の場所を目指し、食と連携した器文化の発信に努めています。

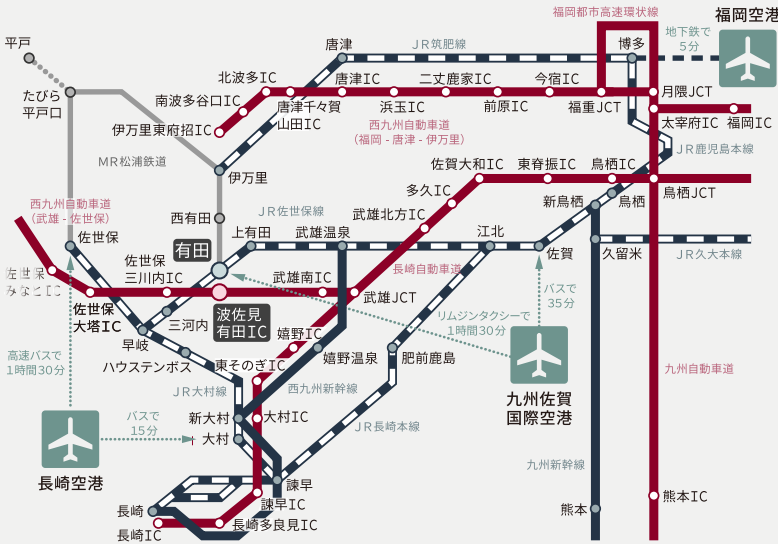


開放的なオープンキッチンとダイニング



クリエイターの作品を展示するギャラリー

鉄道・道路路線図



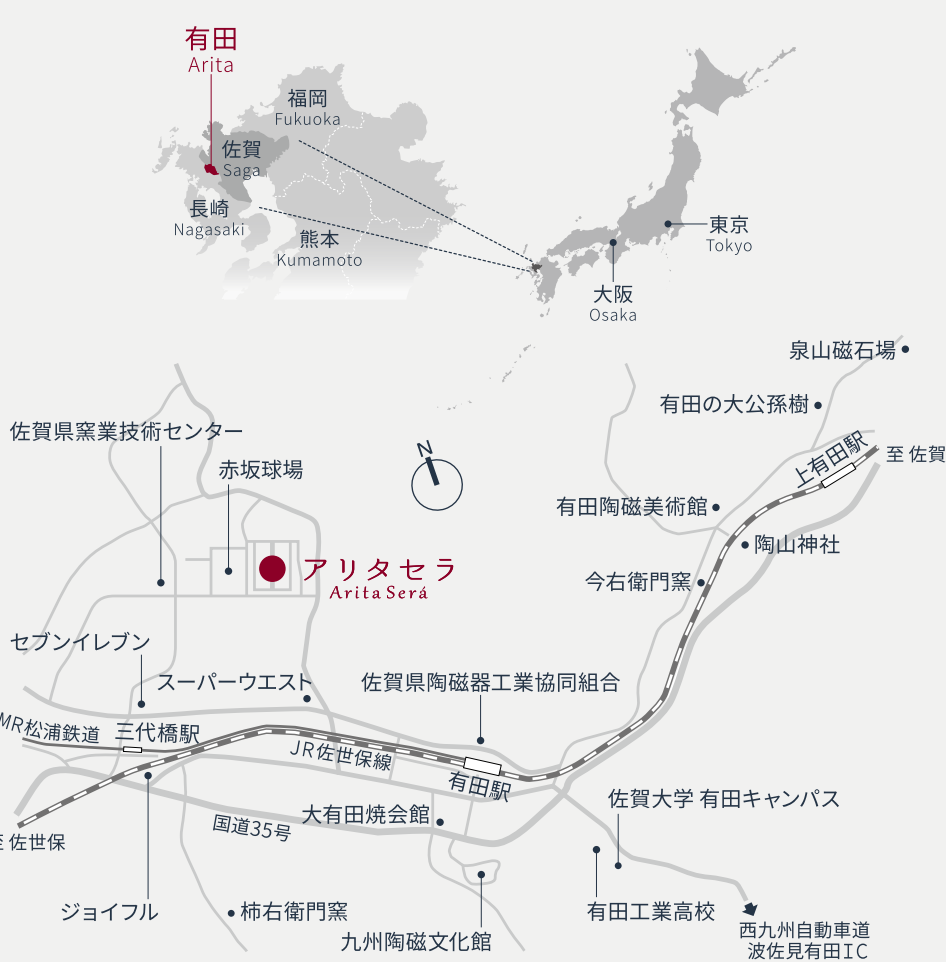
車でお越しの場合

長崎空港	長崎自動車道 ➡ 西九州自動車道	波佐見有田IC	太宰府ICより 約 70分
	約 1時間		鳥栖ICより 約 60分
福岡空港	九州自動車道 ➡ 長崎自動車道 ➡ 西九州自動車道		佐賀大和ICより 約 40分
	約 1時間 20分		熊本ICより 約 100分
佐賀空港	一般道	有田	波佐見有田IC から アリタセラまで 約 10分
	約 1時間 20分		

電車などの公共交通機関でお越しの場合

長崎空港	バス 15分 JR 5分 新大村駅	JR快速 50分 西九州新幹線 15分 武雄温泉駅	早岐駅 15分 JR特急 15分	大村駅から有田駅まで 早岐駅まで快速で 50分 早岐駅から特急で 15分 新大村駅まで普通で 5分 武雄温泉駅まで新幹線で 15分 武雄温泉駅から特急で 15分 佐世保駅から有田駅まで 1時間に1本の特急みどり 30分 博多駅から有田駅まで 1時間に1本の特急みどり 1時間 30分 佐賀駅から有田駅まで 1時間に1本の特急みどり 40分
福岡空港	地下鉄 5分 博多駅	JR特急 1時間 30分		
佐賀空港	バス 35分 リムジンタクシー 1時間 30分	佐賀駅	JR特急 40分	

アクセスマップ



お問い合わせ
アリタセラ Arita Será
〒844-0024
佐賀県西松浦郡有田町赤坂丙2351-169
詳しくは、公式WEBサイト等を御覧ください
www.arita.gr.jp

有田焼卸団地協同組合
TEL :
0955-43-2288
@arita.sera